

SS 研 ICT フォーラム 2020 「ビヨンドコロナ時代の〇〇」

～SS 研会員に限らず、どなたでもご参加いただけます～

- 日時 : 2020年9月7日(月) 13:00~17:00
- 場所 : オンライン
- 開催趣旨

2019年12月頃から新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が流行し始め、パンデミックを引き起こしている。そしてこの感染症の流行は、世界中の人たちの生活様式を一変させる事になった。この後には我々には何が待ち受けて、この先の未来はどのような世界が待ち受けていて、私たちはどのように変化しないといけないのであろうか? 人類と感染症の関わりの歴史はとても長く、過去には「天然痘」や「ペスト」といった感染症のパンデミックを経験してきた。100年ほど前の「スペイン風邪」は、1918年3月頃から1920年まで全世界でパンデミックを起し、当時の世界人口の三分の一以上が感染、数千万人が死亡した。この時、輸送船での集団感染、患者が病院に殺到して医療崩壊、各種産業の生産能力が落ち社会機能が麻痺、不要不急の外出を控える通達、学校や娯楽施設の閉鎖など、現在の状況と似ているところが多々見られる。だが人類はその度に感染症のパンデミックを乗り越え、そのパンデミックが去った後にはその時の時代に応じた変化を遂げてきた。

現下の情勢を見ると、教育のあり方や働き方、生活様式、ソーシャル・ディスタンスなど、様々な方面において人類はパラダイムチェンジに直面している。この新型コロナウイルス感染症が世界を一変させた今、過去の人類が変化を遂げてパンデミックを克服したのと同様に、今を生きる我々はこの時代に応じたニューノーマル(新状態)を実践して新しい未来を築き上げていかなければいけない。新型コロナウイルスによって世界が変えられ今までの当たり前が当たり前ではなくなった今、この先どういう世界になるのか見通すのは容易ではないが既にコロナ収束後に向けた模索は様々な場面で始まっており、ICTの分野も例外ではない。

そこで、本年度のICTフォーラム2020では、先に述べた様な過去の背景や with コロナ社会、after コロナ社会を踏まえて、「ビヨンドコロナ時代の〇〇」をテーマとし、どういうICTの世界を作り上げて行くべきなのか、またICTをどのように活用していかなければいけないのかなど、ICTに纏わる働き方、教育、法律の観点から、ビヨンドコロナ時代について議論を行いたい。

- プログラム : (予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい)

-敬称略-

13:00~	アクセス開始
13:10~13:20	開会あいさつ 藤村 丞(福岡大学)
13:20~13:55 (講演 35分)	[1] 「ニューノーマルな社会へ シスコが考えるビヨンドコロナ時代のプラットフォーム」 上野 温子(Ashley Ueno) (シスコシステムズ セールスペシャリスト・プロダクトマネージャ)
14:00~14:35 (講演 35分)	[2] 「対面授業とオンライン授業からみえたこと インストラクショナルデザインから考える」 猪俣 敦夫(大阪大学 教授)
14:40~15:15 (講演 35分)	[3] 「サイバーセキュリティに関する法律 関連法令Q&Aハンドブックと発信者情報開示の解説」 北條 孝佳(西村あさひ法律事務所 弁護士)
15:15~15:35	休憩

(裏面に続く)

<p>15:35~16:55 (パネルディスカ ッション 80分)</p>	<p>パネルディスカッション： 「ビヨンドコロナ時代の〇〇」 司会：廣瀬 幸（東京電機大学） モデレータ：南 弘征（北海道大学） パネリスト：北條 孝佳（西村あさひ法律事務所） パネリスト：猪俣 敦夫（大阪大学） パネリスト：上野 温子（シスコシステムズ）</p>
---	--

■ ご参加について

- 参加対象：オープン開催（SS研会員に限らず、どなたでもご参加いただけます）
- 参加費：無料

■ 詳細・お申し込み

SS研Webサイトからお申し込み下さい。

<http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>

※別途参加のURL、パスワード等を通知させていただきます。



【お問合せ先】 サイエнтиフィック・システム研究会（SS研）事務局
〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
富士通株式会社 カスタマーリレーション部内
TEL：03-6252-2582(直通)
Email：ssken-office@ml.css.fujitsu.com
URL <http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>